

4 観光立県とちぎプロジェクト

1 プロジェクトの概要

(1) 目標

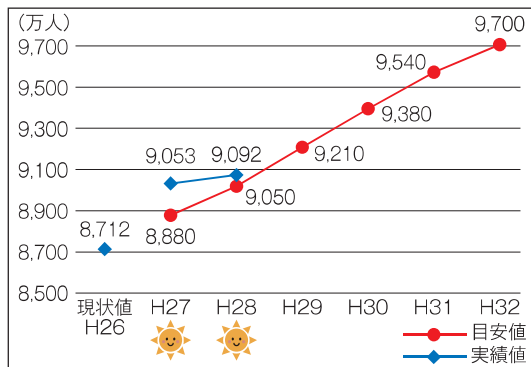
- 東京オリンピック・パラリンピック開催等を好機として、豊富な観光資源や東京圏に近接する強みを最大限に生かし、観光地としての魅力向上や国内外からの観光誘客強化に取り組み、観光産業の更なる発展を図ります。

(2) 重点的取組

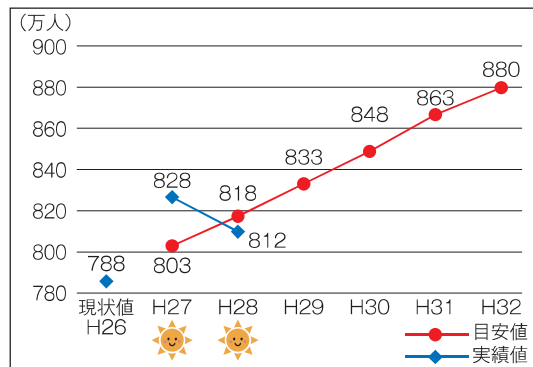
- ☆ 魅力と活気ある観光地づくり
- ☆ 戦略的な観光誘客の推進
- ☆ 海外観光誘客の強化

2 プロジェクトの進捗を表す成果指標等の状況

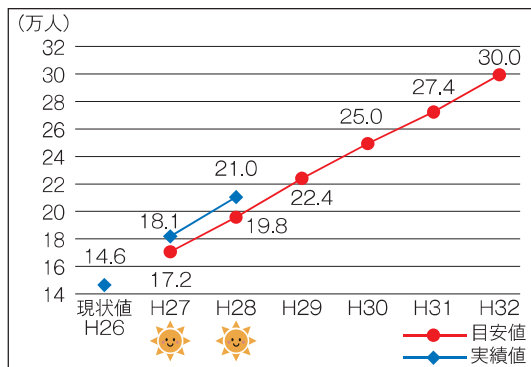
① 観光客入込数



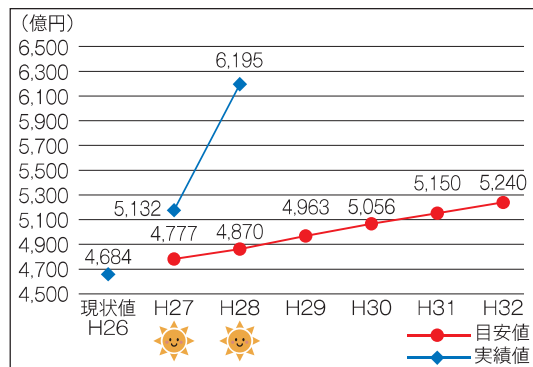
② 観光客宿泊数



③ 外国人宿泊数



④ 観光消費額



(注)達成見込の判断



概ね順調



やや遅れている



遅れている

○成果指標の分析

- ① 観光客入込数は、県、市町、観光関連団体、交通事業者等が一体となった観光プロモーション等の効果により増加しており、目標達成に向けて概ね順調である。
- ② 観光客宿泊数は、大型イベント等のあった前年から減少したものの、県、市町、観光関連団体、交通事業者等が一体となった観光プロモーション等の効果により目安値と同水準を維持しており、目標達成に向けて概ね順調である。

- ③ 外国人宿泊数は、有望市場である東アジア・東南アジアをはじめ、欧州等からの観光誘客により増加しており、目標達成に向けて概ね順調である。
- ④ 観光消費額は、県外からの日帰り客の観光消費額単価の伸びや県内日帰り客数の増加等により、目標値に達している。

3 県民満足度調査の結果

	H28	H29	H30	H31	H32
満足・やや満足の割合	42.4%	34.7%			
やや不満・不満の割合	12.2%	14.0%			

4 主な取組成果

◎ 魅力と活気ある観光地づくり

- ▷ 民間による地域資源の活用やブランド化、滞在性や周遊性の高い旅行商品開発の促進
- ☆ 本県の特徴を生かしたDMOの形成支援

- ・ 県域版、地域版のDMO形成に向けた県観光物産協会や「日光DMO」への助成

○ 地域資源の磨き上げ等による新たな魅力の創出や周遊ルートづくり

- ・ 本県の「食・食文化」を中心としたパンフレット、HP等の作成
- ・ スカイベリーに関連したオリジナル商品の開発・販売
- ・ 首都圏や中京・関西をターゲットにした旅行商品の造成促進、旅行業登録のある事業者が行う地域資源を活用した旅行商品開発に対する助成
- ・ 旅行者のニーズに沿った周遊ルートの提案ができる観光アプリ「とち旅」の配信
- ・ 関東近県、民間事業者等との連携による広域関東周遊ルート「東京圏大回廊」の策定

○ 地域の観光振興の担い手となる人材の育成

- ・ 栃木ファンクラブサポーターが主体となった地域との連携による地域の魅力発信の取組支援

▷ オールとちぎによる受入態勢の整備等の推進

☆ 県民一人ひとりの観光客に対するおもてなしの向上

- ・ 県民参加によるおもてなし向上運動の方策の検討、及び「観光立県とちぎの実現に向けたおもてなしの推進等に関する条例」の制定
- ・ 市町や観光関係団体が実施するホスピタリティ向上に係る研修開催等の支援

☆ 案内表示の多言語化、Wi-Fi環境の整備や公衆トイレの洋式化等の推進

- ・ 外国人観光客の利用が見込まれる県有施設等におけるトイレの洋式化、道路標識の英語併用表記改善や自然公園内の案内標識の多言語化の実施、Wi-Fi環境の整備
- ・ 外国人観光客の受入環境整備を推進するための県内5地域における地域版「世界に通用する魅力ある観光地づくりプログラム」の策定支援
- ・ 外国人観光客が無料で使用できるWi-Fiアクセスポイントの周知及びID/PASSカードの配付

☆ 主要駅等と観光地を結ぶ二次交通の利便性向上の促進

- ・ 観光アプリ「とち旅」によるバスを含めた交通手段情報の提供
- ・ 鉄道駅と観光地を結ぶバス路線への支援

- 観光地へのアクセス向上に資する道路の整備
 - ・広域的な観光周遊ルート形成に必要な県境を越えた道路整備を提唱するための「日光・会津・上州歴史街道対流圏の強化プロジェクト」のシンポジウムの開催
 - ・観光地における渋滞対策の実施
 - ・観光周遊性向上のための広域道路網の整備推進
 - ・日光や那須塩原における駅周辺目抜き通りの整備推進

◎ 戦略的な観光誘客の推進

▷大型観光キャンペーン等による集中的な誘客宣伝活動の展開、効果的な観光誘客の推進

- 「本物の出会い 栃木」観光キャンペーンの展開
 - ・市町、観光協会をはじめ、幅広い団体等の参画による「本物の出会い 栃木」デスティネーションキャンペーン（DC）実行委員会の設立
 - ・全国宣伝販売促進会議の開催準備
 - ・プレDCに向けたDC実行委員会地域分科会等における観光資源の磨き上げや特別企画の検討
- アンテナショップ等を活用した首都圏等への効果的な情報発信
 - ・市町合同によるイベントスペースを利用した観光PR等、とちまるショップにおける観光イベントの実施やツーリズムEXPO2016への出展
 - ・各市町ごとのテーマ設定による特色を生かしたとちまるショップにおける物産フェアの開催
 - ・プレDCに向けた主要駅へのポスター掲出や観光パンフレット配架

◎ 海外観光誘客の強化

▷海外からの観光誘客の強化

- ☆海外の観光誘客拠点等による有望市場からの誘客推進
 - ・有望市場に対する観光誘客拠点の活用、海外旅行博出展等による現地プロモーションや旅行エージェント招請の実施
- ☆海外メディアやインターネット等による効果的な情報発信
 - ・「とちぎ旅ネット」へのフランス語ページの追加やSNSを活用した英語、中国語（繁体字）による情報発信
 - ・海外メディアや在日外国人ブロガー招請による情報発信
 - ・日本政府観光局（JNTO）ウェブサイトへの記事掲載による情報発信
- 関東近県等との広域連携によるプロモーション
 - ・茨城県、群馬県をはじめとする関東近県等との連携による海外旅行博への出展等

5 課題

<公共交通のユニバーサルデザイン化>

東京オリンピック・パラリンピックや本県で開催する国民体育大会・全国障害者スポーツ大会を契機として、障害の有無、年齢等に関わらず、地域住民はもとより観光客が移動しやすい公共交通環境の整備が必要であり、鉄道駅に加え、二次交通のユニバーサルデザイン化を進めていく必要があります。

☆<観光情報等の発信力の強化>

更なる観光誘客や県産品の販路拡大を図るため、首都圏はもとより、本県の知名度の低い大阪を中心とした関西圏等において栃木県の魅力である観光や県産品等の情報に触れる機会を積極的に創出していく必要があります。